

事業報告書
(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

1 医療法人の概要

(1) 名 称

社会医療法人 製鉄記念広畑病院

① ☐ 財団 ☐ 社団 (☐ 出資持分なし ☐ 出資持分あり)

② ☒ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人

☐ 出資額限度法人 ☐ その他

③ ☐ 基金制度採用 ☐ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地

兵庫県姫路市広畑区夢前町三丁目1番地

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 平成 9年12月24日

(4) 設立登記年月日 平成10年 1月16日

(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理事長	橘 史朗	医師 (製鉄記念広畑病院 管理者)
理 事	坂原 康敏	事務職 (製鉄記念広畑病院 副理事長)
同	木下 芳一	医師 (製鉄記念広畑病院 病院長)
同	巽 祥太郎	医師 (製鉄記念広畑病院 副院長)
同	村津 裕嗣	医師 (製鉄記念広畑病院 副院長)
同	藤井 明	医師 (製鉄記念広畑病院 泌尿器科部長)
同	都賀 道博	有識者 (ゆめさき会 役員)
同	櫻井 一成	有識者 (日本製鉄㈱瀬戸内製鐵所 総務部人事総務室長)
同	宮田 幸二	事務職 (製鉄記念広畑病院 事務長)
監 事	黒田 哲郎	有識者 (ゆめさき会 役員)
同	曾谷 勝明	有識者 (税理士)
同	梅田 裕介	有識者 (日本製鉄㈱瀬戸内製鐵所 総務部経理室長)

注) 1. 社会医療法人及び特定医療法人以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。)の管理者であることを記載すること。(医療法第46条の5第6項参照)

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第46条の4参照)

2 事業の概要

(1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院			一般病床 392 床 療養病床 床 [医療保険 床] [介護保険 床] 精神病床 床 感染症病床 床 結核病床 床
診療所			一般病床 床 療養病床 床 [医療保険 床] [介護保険 床]
介護老人 保健施設			入所定員 名 通所定員 名
介護医療 院			入所定員 名

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。

3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

4. 介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員を記載すること。

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
該当無し		

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

(3) 収益業務（社会医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考
該当無し		

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

日付	会議名	議決又は同意事項
令和3年5月（書面）	第88回社員総会	兵庫県と当院の債権債務の取り扱いに関する協定書の締結に関する件
令和3年6月29日	第89回社員総会	2020年度決算（案）内容および監査に関する件 2020年度利益処分案に関する件 県立病院との統合に関する件 役員の交代に関する件
令和3年11月12日	第90回社員総会	2021年度上期決算の内容に関する件 資金調達先の変更に関する件 役員報酬の減額に関する件 資産売却に関する件
令和4年2月（書面）	第91回社員総会	資金調達先の変更に関する件 資産売却に関する件
令和4年3月29日	第92回社員総会	2022年度事業計画に関する件 資産売却に関する件 資産及び債務引継契約書の締結に関する件 理事の退職金支給に関する件 病床返還に関する件

注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債
特に無し

(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債
特に無し

(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設
特に無し

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容
特に無し

(9) そ の 他
特に無し

法人名 社会医療法人 製鉄記念広畑病院
所在地 兵庫県姫路市広畑区夢前町三丁目1番地

※医療法人整理番号 28158

貸 借 対 照 表

(令 和 4 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	1,910,457	I 流 動 負 債	7,107,432
現 金 及 び 預 金	641,946	買 掛 金	525,080
事 業 未 収 金	1,121,147	短 期 借 入 金	2,205,984
た な 卸 資 産	152,322	1年以内返済予定長期借入金	2,763,282
前 払 費 用	1,655	未 払 金	201,868
貸 倒 引 当 金	△ 6,614	未 払 費 用	1,249,662
		未 払 法 人 税 等	639
		未 払 消 費 税 等	3,358
		預 り 金	93,802
		金 利 ス ワ ッ プ	63,754
II 固 定 資 産	5,559,797		
1 有 形 固 定 資 産	5,534,551	II 固 定 負 債	66,020
建 物	3,836,589	役員退職慰労引当金	66,020
構 築 物	126,237		
医 療 用 器 械 備 品	349,544		
そ の 他 の 器 械 備 品	31,486		
車 両 及 び 船 舶	201		
土 地	1,190,491		
2 無 形 固 定 資 産	25,245		
ソ フ ト ウ ェ ア	20,663		
その他の無形固定資産	4,582		
		負 債 合 計	7,173,452
		純 資 産 の 部	
		科 目	金 額
		I 積 立 金	360,556
		設 立 等 積 立 金	1,296,053
		繰 越 利 益 積 立 金	△ 935,496
		II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	△ 63,754
		繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△ 63,754
		純 資 産 合 計	296,802
資 産 合 計	7,470,254	負 債 ・ 純 資 産 合 計	7,470,254

(注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。

法人名 社会医療法人 製鉄記念広畑病院
所在地 兵庫県姫路市広畑区夢前町三丁目1番地

※医療法人整理番号 28158

損 益 計 算 書
(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		10,029,709
2 事業費用		
(1)事業費	10,528,292	
(2)本部費	-	10,528,292
事業損失		△ 498,583
II 事業外収益		
受取利息	0	
その他の事業外収益	-	0
III 事業外費用		
支払利息	58,818	
その他の事業外費用	9,378	68,196
経常損失		△ 566,779
IV 特別利益		
固定資産売却益	-	
その他の特別利益	-	
V 特別損失		
固定資産売却損	10,012	
固定資産除却損	80,311	
その他の特別損失	10,681	101,006
税引前当期純損失		△ 667,785
法人税・住民税及び事業税	651	
法人税等調整額	-	651
当期純損失		△ 668,437

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

様式11-2

法人名 社会医療法人 製鉄記念広畑病院
所在地 兵庫県姫路市広畑区夢前町三丁目1番地

※医療法人整理番号 28/58

財 産 目 録
(令 和 4 年 3 月 31 日 現 在)

1. 資 産 額	7,470,254 千円
2. 負 債 額	7,173,452 千円
3. 純 資 産 額	296,802 千円

(内 訳)		(単位：千円)
区 分		金 額
A 流 動 資 産		1,910,457
B 固 定 資 産		5,559,797
C 資 産 合 計 (A + B)		7,470,254
D 負 債 合 計		7,173,452
E 純 資 産 (C - D)		296,802

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地	(<input type="checkbox"/> 法人所有	<input type="checkbox"/> 賃借	<input checked="" type="checkbox"/> 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物	(<input checked="" type="checkbox"/> 法人所有	<input type="checkbox"/> 賃借	<input type="checkbox"/> 部分的に法人所有(部分的に賃借))

法人名	社会医療法人製鉄記念広島病院	
所在地	兵庫県姫路市広畑区夢前町3丁目1番地	

※医療法人整理番号	2	6	1	5	8
-----------	---	---	---	---	---

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1)法人である関係事業者

種類	名称	所在地	資産 総額 (千円)	事業の 内容	関係事業者 との関係	取引の 内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
該当なし									

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2)個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の 内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
該当なし							

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(注)

- 1 関係事業者ごとに記載すること。
- 2 種類は医療法施行規則第32条の6に定める関係事業者のうち該当する関係を記載する。
近親者である場合には続柄を記載する。
- 3 次に定める取引については上記の注記を要しない。
イ 一般競争入札による取引並びに預金利息及び配当金の受取りその他取引の性格からみて取引条件が一般の取引と同様であることが明白な取引。
ロ 役員に対する報酬、賞与及び退職慰労金の支払い
- 4 該当する取引がない場合には「該当なし」と記載する。

監 査 報 告 書

社会医療法人製鉄記念広島病院
理事長 橘 史 朗 様

私たちは、社会医療法人製鉄記念広島病院の2021会計年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

【監査の方法の概要】

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書、キャッシュ・フロー計算書の監査を実施しました。

記

【監査結果】

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事等の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

2022年6月20日

社会医療法人製鉄記念広島病院

監 事 曾 谷 勝 男

監 事 黒 田 哲 郎

監 事 梅 田 裕 介

医療法第42条の2第1項第5号の要件に該当する旨を説明する書類

社会医療法人 製鉄記念広畑病院

申請者名： 理事長 橘 史 朗 印

住 所：兵庫県姫路市広畑区夢前町三丁目1番地

以下のとおり相違ありません。

施 設 名	製鉄記念広畑病院
施設の所在地	兵庫県姫路市広畑区夢前町三丁目1番地
管轄保健所名	姫路市保健所

1 診療科目

科 目	内科	循環器科	神経内科	消化器内科	小児科	外科
	整形外科	形成外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科
	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	リウマチ科	リハビリテーション科
	救急科	糖尿病内科	腎臓内科	消化器外科	乳腺外科	血管外科
	呼吸器外科	肛門外科	頸部外科	病理診断科	緩和ケア内科	歯科口腔外科

2 許可病床数

一 般		療 養		結 核		精 神		感 染 症		合 計	
室	床	室	床	室	床	室	床	室	床	室	床
105	392									105	392

3 構造設備

(1) 総括表（該当する業務の区分及び所有する施設・設備等の□にチェックすること。）

業務の区分	施 設	設 備 等
<input checked="" type="checkbox"/> 救急医療 <input type="checkbox"/> 精神科救急医療 <input type="checkbox"/> 災害医療 <input type="checkbox"/> へき地医療 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> へき地診療所 <input type="checkbox"/> 周産期医療 <input type="checkbox"/> 小児救急医療	<input checked="" type="checkbox"/> 集中治療室 <input type="checkbox"/> 母体胎児集中治療管理室 <input type="checkbox"/> 新生児集中治療管理室 <input checked="" type="checkbox"/> 診察室 <input checked="" type="checkbox"/> 手術室 <input checked="" type="checkbox"/> 処置室 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査施設 <input checked="" type="checkbox"/> エックス線診療室 <input checked="" type="checkbox"/> 調剤所 <input type="checkbox"/> 保護室 <input checked="" type="checkbox"/> 面会室 <input type="checkbox"/> 専用病床（ 床） <input checked="" type="checkbox"/> 優先的に使用される病床 <input checked="" type="checkbox"/> 備蓄倉庫 <input checked="" type="checkbox"/> ヘリポート（ <input checked="" type="checkbox"/> 敷地内 <input type="checkbox"/> 近接地） <input checked="" type="checkbox"/> 医師住宅 <input checked="" type="checkbox"/> 看護師住宅	<input checked="" type="checkbox"/> 分娩監視装置 <input checked="" type="checkbox"/> 新生児用呼吸循環監視装置 <input checked="" type="checkbox"/> 超音波診断装置 <input type="checkbox"/> 新生児用人工換気装置 <input checked="" type="checkbox"/> 微量輸液装置 <input checked="" type="checkbox"/> 保育器 <input checked="" type="checkbox"/> 簡易ベッド <input checked="" type="checkbox"/> 携帯用医療機器 <input checked="" type="checkbox"/> 食料 <input checked="" type="checkbox"/> 飲料水 <input checked="" type="checkbox"/> 医薬品 <input checked="" type="checkbox"/> 自家発電装置 <input checked="" type="checkbox"/> トリアージタッグ <input checked="" type="checkbox"/> 救急用自動車 <input checked="" type="checkbox"/> 広域災害・救急医療情報システム

(2) 災害医療の確保に関する事業に係る病院の概要

区 分	構造の概要	耐震基準	用途の区分	室 数

(3) 開設するべき地診療所の所在地の都道府県において病院を開設する場合の当該病院の概要

病 院 名	施 設	へき地診療所からの入院患者の受入れ体制
	<input type="checkbox"/> 診察室 <input type="checkbox"/> 手術室 <input type="checkbox"/> 処置室 <input type="checkbox"/> 臨床検査施設 <input type="checkbox"/> エックス線診療室 <input type="checkbox"/> 調剤所 <input type="checkbox"/> 病床数 (床) <input type="checkbox"/> 医師住宅 <input type="checkbox"/> 看護師住宅	
	<input type="checkbox"/> 診察室 <input type="checkbox"/> 手術室 <input type="checkbox"/> 処置室 <input type="checkbox"/> 臨床検査施設 <input type="checkbox"/> エックス線診療室 <input type="checkbox"/> 調剤所 <input type="checkbox"/> 病床数 (床) <input type="checkbox"/> 医師住宅 <input type="checkbox"/> 看護師住宅	
	<input type="checkbox"/> 診察室 <input type="checkbox"/> 手術室 <input type="checkbox"/> 処置室 <input type="checkbox"/> 臨床検査施設 <input type="checkbox"/> エックス線診療室 <input type="checkbox"/> 調剤所 <input type="checkbox"/> 病床数 (床) <input type="checkbox"/> 医師住宅 <input type="checkbox"/> 看護師住宅	

4 職種別従業員数

職種 人員	医師	歯科医師	薬剤師	診療放射線技師	歯科技工士	臨床検査技師	歯科衛生士	看護師	助産師	管理栄養士	理学療法士	作業療法士	臨床工学技士	事務職員	調理師	その他	計
定員	37		4					122		1							164
実人員	108		23	20		24		426	25	4	15	4	18	83		76	826
内特殊 関係者	5													1			6

5 勤務体制

	体制	昼間（15時現在）		夜間（3時現在）		休日（15時現在）	
		専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任
医師	病院内	2	105	2	1	2	1
	オンコール	1		2	12	2	12
内 精神科医（再掲）	病院内						
	オンコール						
内 小児科医（再掲）	病院内		1				
	オンコール				1		1
内 産婦人科医（再掲）	病院内		2				
	オンコール				1		1
薬剤師	病院内	3	20	1	1	1	1
	オンコール						
診療放射線技師	病院内	2	18	1		2	
	オンコール			1			
臨床検査技師	病院内		22		1		1
	オンコール						
看護師	病院内	4	192	2	30	4	75
	オンコール						
合 計	病院内	11	360	6	33	9	78
	オンコール	1		3	14	2	14
内 救急医療（再掲） （精神科救急医療含む）	病院内	2		2	1	2	1
	オンコール	1		1		1	
内 周産期医療（再掲）	病院内						
	オンコール						
内 小児救急医療（再掲）	病院内						
	オンコール						

6 その他の体制

(1) 精神科救急医療の場合のみ

- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行規則第5条の2第1号に基づく都道府県知事の指定の有無（有・無）
- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行規則第5条の2第3号に基づく常時勤務する指定医の人数（ 人）

(2) 災害医療の場合のみ

- ・災害派遣医療チーム（DMAT）の有無 ☒ 有・無

添付書類 1-1 (救急医療)

医療法第42条の2第1項第5号の要件に該当する旨を説明する書類

社会医療法人 製鉄記念広畑病院

申請者名： 理事長 橘 史 朗 印

住 所： 兵庫県姫路市広畑区夢前町三丁目1番地

以下のとおり相違ありません。

病 院 名	製鉄記念広畑病院
病院の所在地	兵庫県姫路市広畑区夢前町三丁目1番地
管轄保健所名	姫路市保健所

[時間外等加算割合]

区 分	6歳以上の件数	6歳未満の件数	合 計
初診料の算定件数	46,521件	1,269件	A 47,790件
内 時間外加算の算定件数	414件	13件	① 427件
内 休日加算の算定件数	1,537件	61件	② 1,598件
内 深夜加算の算定件数	1,650件	23件	③ 1,673件
内 時間外加算の特例の算定件数	2,088件	89件	④ 2,177件
時間外等加算割合 {(①+②+③+④) / A}			12.3%

(記載上の注意事項)

- 直近に終了した3会計年度における初診料(診療報酬の算定方法(平成18年厚生労働省告示第92号)別表第一区分番号A000に掲げるものをいう。)の算定件数を記載すること。

添付資料

- 時間外等加算件数明細表

時間外等加算件数明細表

(自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)

区 分	6歳以上の件数	6歳未満の件数	合 計
初診料の算定件数	16,493件	450件	16,943件
内 時間外加算の算定件数	147件	6件	153件
内 休日加算の算定件数	637件	24件	661件
内 深夜加算の算定件数	691件	9件	700件
内 時間外加算の特例の算定件数	849件	39件	888件

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

区 分	6歳以上の件数	6歳未満の件数	合 計
初診料の算定件数	15,865件	360件	16,225件
内 時間外加算の算定件数	147件	3件	150件
内 休日加算の算定件数	477件	19件	496件
内 深夜加算の算定件数	497件	5件	502件
内 時間外加算の特例の算定件数	603件	25件	628件

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

区 分	6歳以上の件数	6歳未満の件数	合 計
初診料の算定件数	14,163件	459件	14,622件
内 時間外加算の算定件数	120件	4件	124件
内 休日加算の算定件数	423件	18件	441件
内 深夜加算の算定件数	462件	9件	471件
内 時間外加算の特例の算定件数	636件	25件	661件

(合 計)

区 分	6歳以上の件数	6歳未満の件数	合 計
初診料の算定件数	46,521件	1,269件	47,790件
内 時間外加算の算定件数	414件	13件	427件
内 休日加算の算定件数	1,537件	61件	1,598件
内 深夜加算の算定件数	1,650件	23件	1,673件
内 時間外加算の特例の算定件数	2,088件	89件	2,177件

(記載上の注意事項)

○ (合計) の表以外については、会計年度毎に記載すること。

添付書類 1-2 (救急医療)

医療法第42条の2第1項第5号の要件に該当する旨を説明する書類

社会医療法人 製鉄記念広畑病院

申請者名： 理事長 橘 史 朗

印

住 所：兵庫県姫路市広畑区夢前町三丁目1番地

以下のとおり相違ありません。

病 院 名	製鉄記念広畑病院
病院の所在地	兵庫県姫路市広畑区夢前町三丁目1番地
管轄保健所名	姫路市保健所

〔夜間等救急自動車等搬送件数〕

消防機関の救急自動車による搬送件数	① 5,522件
医療施設が保有する救急用自動車による搬送件数	② 27件
民間会社が保有する救急用自動車による搬送件数	③ ー 件
ヘリコプターによる搬送件数	④ 49件
合 計	5,598件
3会計年度平均	1,866件

(記載上の注意事項)

- 直近に終了した3会計年度における夜間(午後6時から翌日の午前8時までとし、休日を除く。)及び休日(日曜日、国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日及び年末年始の日(1月1日を除く12月29日から1月3日まで)及び土曜日又はその振替日)の救急搬送件数を記載すること。

添付資料

- 夜間等救急自動車等搬送件数明細表
- 夜間等救急自動車等搬送件数を証明する書類(救急搬送証明書等の写し(患者の氏名及び住所に係る記載の部分については、消去等の処理をすること。))

夜間等救急自動車等搬送件数明細表

(自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)

消防機関の救急自動車による搬送件数	2, 247件
医療施設が保有する救急用自動車による搬送件数	11件
民間会社が保有する救急用自動車による搬送件数	－ 件
ヘリコプターによる搬送件数	16件

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

消防機関の救急自動車による搬送件数	1, 657件
医療施設が保有する救急用自動車による搬送件数	13件
民間会社が保有する救急用自動車による搬送件数	－ 件
ヘリコプターによる搬送件数	23件

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

消防機関の救急自動車による搬送件数	1, 618件
医療施設が保有する救急用自動車による搬送件数	3件
民間会社が保有する救急用自動車による搬送件数	－ 件
ヘリコプターによる搬送件数	10件

(合 計)

消防機関の救急自動車による搬送件数	5, 522件
医療施設が保有する救急用自動車による搬送件数	27件
民間会社が保有する救急用自動車による搬送件数	－ 件
ヘリコプターによる搬送件数	49件

(記載上の注意事項)

○ (合計) の表以外については、会計年度毎に記載すること。

添付書類 6

公的な運営に関する要件（医療法第42条の2第1項第1号から第3号まで及び第6号）に該当する旨を説明する書類（運営）

社会医療法人 製鉄記念広畑病院

申請者名： 理事長 橘 史 朗 印

住 所：兵庫県姫路市広畑区夢前町三丁目1番地

以下のとおり相違ありません。

1 運営組織（法第42条の2第1項第1号から第3号まで、規則第30条の35の2第1項第1号イ及びニ）

	総 数	最も人数の多い 親 族 等 の グループの人数	親 族 等 の 割 合	最も人数の多い 他の同一団体の グループの人数	他の同一団体 の 割 合
理 事	9人	0人	%	1人	12.5%
監 事	3人			1人	33.3%
社 員	9人	0人	%		
評議員	0人	0人	%		

2 役員等の選任方法（規則第30条の35の2第1項第1号ロ及びハ）

（該当する項目欄の□にチェックすること。）

(1) 共通事項

☒ 理事、監事及び評議員の選任方法について、定款又は寄附行為に定めがある

(2) 社団医療法人

☒ すべての理事及び監事を社員総会で選任

(3) 財団医療法人

☐ すべての理事及び監事を評議員会で選任

☐ すべての評議員を理事会において推薦

3 報酬等の支給基準（規則第30条の35の2第1項第1号ホ）

（該当する項目欄の□にチェックすること。）

☒ 理事、監事及び評議員に対する報酬等について、支給基準を定めている

	支給基準の内容
理 事	別紙参照
監 事	別紙参照
評議員	

添付資料

○ 理事、監事及び評議員に対する報酬等の支給基準

4 経理内容（規則第30条の35の2第1項第1号へ及びト）

区 分	医療法人の関係者、株式会社その他営利事業を営む者又は特定の個人若しくは団体に対する特別の利益の供与の内容	特別の利益の有無
施設の利用	医師社宅、看護師寮	有 ・ 無
金銭の貸付け	看護職員（看護学生修学金貸与規程に基づく貸与）	有 ・ 無
資産の譲渡	なし	有 ・ 無
給与の支給	なし	有 ・ 無
役員等の選任	日本製鉄㈱から、理事2名（8名のうち）選任	有 ・ 無
その他財産の運用及び事業の運営	なし	有 ・ 無

5 遊休財産（規則第30条の35の2第1項第1号チ及び第2項）

区 分	金 額
A 資産の総額	7,470,254,934 円
B 純資産の額	296,802,199 円
C 純資産の額の資産の総額に対する割合（ $B/A \times 100$ ）	3.97%
D 控除対象財産の帳簿価額（イからへまでの合計額）	7,435,249,056 円
イ 本来業務の用に供する財産	7,435,249,056 円
ロ 附帯業務の用に供する財産	0 円
ハ 収益業務の用に供する財産	0 円
ニ イからハまでに掲げる業務を行うために保有する財産	0 円
ホ 減価償却引当特定預金	0 円
ヘ 特定事業準備資金	0 円
E 遊休財産額（ $(A-D) \times C$ ）	1,389,733 円
F 事業費用の額	10,528,292,547 円

添付資料

○ 直近に終了した会計年度の貸借対照表及び損益計算書（新たに社会医療法人の認定を受けようとする場合に限る。）

6 保有財産（規則第30条の35の2第1項第1号リ）

区 分	具 体 的 な 内 容	他の団体の意思決定への関与の有無
株 式	なし	有 ・ 無
出 資	なし	有 ・ 無
社団法人の社員権	なし	有 ・ 無
組合契約	なし	有 ・ 無
信 託	なし	有 ・ 無
外国の法令に基づく財産	なし	有 ・ 無

7 法令違反（規則第30条の35の2第1項第1号ヌ）

区 分	具 体 的 な 内 容	事実の有無
法令違反	なし	有 ・ 無
勧告に反する開設、増床、種別変更	なし	有 ・ 無
帳簿書類の隠ぺい、仮装	なし	有 ・ 無
その他公益に反する事実	なし	有 ・ 無

社会医療法人製鉄記念広畑病院役員報酬規程

第1章 総 則

(目 的)

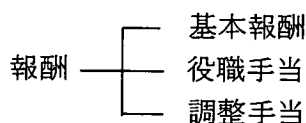
第1条 この規程は、社会医療法人製鉄記念広畑病院（以下「法人」と言う。）と委任契約を締結した理事・監事（以下「役員」という）の報酬に関する基準及び手続きを定めることを目的とする。

(定 義)

第2条 本規程における「報酬」とは、委任契約に基づき、法人業績及び個人業績に応じて支払われる対価をいう。

(報酬体系)

第3条 報酬体系は、次のとおりとする



(報酬の計算期間)

第4条 報酬の計算期間は、その月の1日から月末までとする。

(支 払 日)

第5条 報酬の支払日は毎月20日とし、前条に定める期間の当月分報酬月額から次条に定める控除金を控除した全額について、口座振替の方法により役員に支払う。

- ② 月の中途、報酬支払日以降において役員に選任された者のその月の報酬は、翌月の支払日に当月分を合算して支払うものとする。
- ③ 月の中途において役員を解任された者のその月の報酬は、解任された以降の日数については支払はないものとする。

(報酬からの控除)

第6条 次の各号に該当するものは、毎月支給される報酬からこれを控除する。

- (1) 法令によって定められているもの（所得税、住民税、各種社会保険料等）。
- (2) 上記以外の控除金については、労働組合と締結した「賃金・退職金の一部控除に関する協定」を準用する。

(職員賃金規則の準用)

第7条 報酬の支払に関し、本規程に定めのない事項は、「職員賃金規則」を準用する。

(就業規則の準用)

第8条 勤務日及び勤務時間、休日、有給休暇等は、原則として「職員就業規則」を準用する。

第2章 報 酬

(基本報酬)

第9条 基本報酬は、役員の役職により、使用人部分の報酬を含め次のとおり支給する。

(1) 理事

①常 勤 月 500,000 円 ～ 2,000,000 円

②非常勤 出務一回につき3万円とする。併せて、交通費等の実費相当額を支給する。

なお、常勤理事の基本報酬は、法人の著しい業績悪化が継続する場合においては、理事会の決議を経て報酬カットを可能とする。

(2) 監事

①常 勤 月 100,000 円 ～ 300,000 円

②非常勤 出務一回につき3万円とする。併せて、交通費等の実費相当額を支給する。

② 各役職における役員部分の比率は別に定める。

(役職手当)

第10条 役職手当は、役職者に対し、次のとおり支給する。

(1) 理事長 月 300,000 円 ～ 700,000 円

(2) 病院長 月 200,000 円 ～ 600,000 円

(調整手当)

第11条 前年度の法人業績並びに個人業績（診療実績等）に基づき、理事会において、個々に決定する。

(賞与等について)

第12条 職員に支給される賞与は、理事には支給しない。

以 上

(施 行)

この規程は、平成23年4月1日より実施する。

社会医療法人製鉄記念広畑病院役員報酬細則

(理事報酬の上限および役員報酬の定義)

第1条 理事報酬とは、「社会医療法人製鉄記念広畑病院役員報酬規程」に定める基本報酬、役職手当、調整手当の合算額を言う。

② 常勤理事の理事報酬上限額は、年間2,600万円以内とし、上限を超えて設定する必要がある場合には、理事会の決議を必要とするものとする。ただし、この場合においても上限は2,900万円を超えない。

(各役職の職務における役員部分の比率)

第2条 常勤理事の各役職における役員業務の比率および役員業務の対象報酬は以下のとおりとする。

役 職	役員業務比率	役 員 対 象 報 酬
理事長	95%	基本報酬、役職手当の合算額の95%とする。
病院長	60%	基本報酬の60%とする。
副院長	20%	基本報酬の20%とする。
事務長	20%	基本報酬の20%とする。
上記以外	10%	基本報酬の10%とする。

② 各役職の業務実態に鑑みて比率を個別に設定する必要があると認められる場合には見直すことができる。

(役職手当の運用)

第3条 役職手当は以下の5段階とする。各役職の初年度ランクは1とし、法人業績および個人業績によってランク5まで更新することができる。

1. 理事長

ランク	役職手当
1	30万円
2	40万円
3	50万円
4	60万円
5 (上限)	70万円

2. 病院長

ランク	役職手当
1	20万円
2	30万円
3	40万円
4	50万円
5 (上限)	60万円

以 上

(施 行)

この細則は、平成23年4月1日より実施する。

保有する資産の明細表

1 総括表

区 分	業務の用に 供する財産	保有財産	減価償却引 当特定預金	特定事業 準備資金	その他の財産
流動資産	1,268,511,051 円				641,946,821 円
現金及び預金					641,946,821 円
医業未収金	925,147,820 円				円
その他未収金	195,999,473 円				円
貸倒引当金	△6,614,700 円				円
貯蔵品	152,322,611 円				円
前払費用	1,655,847 円				円
					円
固定資産	5,559,797,062 円	円	円	円	円
有形固定資産	5,534,551,283 円	円			円
建物及び建物付属設備	3,817,397,558 円	円			円
構築物	126,237,856 円	円			円
機械及び装置	19,191,775 円	円			円
車両及び運搬器具	201,124 円	円			円
医療用器械備品	349,544,763 円	円			円
その他の器械備品	31,486,403 円	円			円
土地	1,190,491,804 円	円			円
建物仮勘定		円			円
無形固定資産	25,245,779 円	円			円
ソフトウェア	20,663,324 円	円			円
商標権	72,917 円	円			円
利用権	3,353,825 円	円			円
電話加入権	1,155,713 円	円			円
差入保証金	円	円			円
その他の資産	円		円	円	円
投資有価証券					円
長期貸付金					円
長期前払費用	円				円
					円
					円
資産合計	① 6,828,308,113 円	② 円	③ 円	④ 円	641,946,821 円

(記載上の注意事項)

- 直近に終了した会計年度の貸借対照表に計上する資産について記載すること。
- 表中の科目については貸借対照表に合わせ、必要な科目の追加又は不要な科目の削除を行うこと。

2 業務の用に供する財産の明細

施設名(事業名) 区分	合 計	病 院		
流動資産	1,268,511,051 円	1,268,511,051 円	円	円
医業未収金	925,147,820 円	925,147,820 円	円	円
その他未収金	195,999,473 円	195,999,473 円	円	円
貸倒引当金	△6,614,700 円	△6,614,700 円	円	円
貯蔵品	152,322,611 円	152,322,611 円	円	円
前払費用	1,655,847 円	1,655,847 円	円	円
その他の流動資産	0 円	0 円	円	円
固定資産	5,559,797,062 円	5,559,797,062 円	円	円
有形固定資産	5,534,551,283 円	5,534,551,283 円	円	円
建物及び建物付属設備	3,817,397,558 円	3,817,397,558 円	円	円
構築物	126,237,856 円	126,237,856 円	円	円
機械及び装置	19,191,775 円	19,191,775 円	円	円
車両及び運搬器具	201,124 円	201,124 円	円	円
医療用器械備品	349,544,763 円	349,544,763 円	円	円
その他の器械備品	31,486,403 円	31,486,403 円	円	円
土地	1,190,491,804 円	1,190,491,804 円	円	円
無形固定資産	25,245,779 円	25,245,779 円	円	円
ソフトウェア	20,663,324 円	20,663,324 円	円	円
商標権	72,917 円	72,917 円	円	円
利用権	3,353,825 円	3,353,825 円	円	円
電話加入権	1,155,713 円	1,155,713 円	円	円
差入保証金	円	円	円	円
その他の資産	円	円	円	円
長期前払費用	円	円	円	円
	円	円	円	円
資産合計	⑤ 6,828,308,113 円	6,828,308,113 円	円	円

(記載上の注意事項)

- 直近に終了した会計年度の貸借対照表に計上する資産について、開設する施設毎に記載（同一施設内において複数の事業を行っている場合にあつては、主たる事業については施設名、その他については事業名を記載）すること。
- 表中の科目については貸借対照表に合わせ、必要な科目の追加又は不要な科目の削除を行うこと。
ただし、現金、預金、有価証券、建物仮勘定、貸付金その他これに類する資産については追加しないこと。
- ⑤が①と一致すること。

3 保有財産の明細

保有財産（使用目的）	使用予定年月日	取得年月日	取得価額	保有財産の 帳簿価額
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
合 計	—	—	円	⑥ 円

（記載上の注意事項）

○ ⑥が②と一致すること。

4 減価償却引当特定預金の明細

当該資金の目的	財産の取得又は 改良の予定年度	左記の予定年度 に必要な最低額	減価償却累計額	減価償却引当特定 預金の帳簿価額
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
合 計	—	円	円	⑦ 円

（記載上の注意事項）

○ ⑦が③と一致すること。

5 特定事業準備資金の明細

当該資金の目的	特定事業の開始 予 定 年 度	左記の予定年度 に必要な最低額	毎会計年度に 積み立てる額	特定事業準備資金 の帳簿価額
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
合 計	—	円	円	⑧ 円

（記載上の注意事項）

○ ⑧が④と一致すること。

○ 当該資金の目的毎に必要な最低額に関する合理的な算定根拠について、「特定事業準備資金の明細の別紙」（任意の様式）を作成し、併せて提出すること。（なお、当該別紙についても閲覧対象であること）

6 土地の明細

住 所	総面積	内 借地の面積	内 自地の面積	用途の区分
姫路市広畑区夢前町三丁目 1-1	26,954.34 m ²	m ²	26,954.34 m ²	病院
姫路市広畑区夢前町三丁目 1-14	9,212.33 m ²	m ²	9,212.33 m ²	病院
姫路市広畑区夢前町一丁目 2-1	4,732.52 m ²	m ²	4,732.52 m ²	病院
姫路市広畑区夢前町一丁目 2-14	2,677.90 m ²	m ²	2,677.90 m ²	病院
姫路市広畑区夢前町一丁目 2-16	1,506.72 m ²	m ²	1,506.72 m ²	病院

7 建物の明細

区 分	構造の概要	総 面 積	自家・借家	用途の区分	用途別の面積
本館	鉄筋コンクリート 造7階建（耐震）	17,188.44 m ²	自家	病棟・診察室・手術 室・受付等	17,188.44 m ²
新館	鉄筋コンクリート 造7階建（耐震）	14,254.47 m ²	自家	病棟・診察室・手術 室・受付等	14,254.47 m ²
サービスセンター	鉄筋コンクリート 造2階建（耐震）	1,244.35 m ²	自家	売店・多目的ルーム・ 倉庫等	1,244.35 m ²
リハビリセンター	軽量鉄骨造2階建	850.99 m ²	自家	理学・作業・言語療法 室、更衣室等	850.99 m ²
第2アカシア寮	鉄筋コンクリート 造4階建	893.40 m ²	自家	看護師寮	893.40 m ²
リネン棟	軽量鉄骨造2階建	307.44 m ²	自家	更衣室	307.44 m ²
食堂	軽量鉄骨造平屋建	318.80 m ²	自家	厨房・食堂	318.80 m ²
職員食堂	軽量鉄骨造平屋建	297.00 m ²	自家	厨房・食堂	297.00 m ²
SPDセンター	軽量鉄骨造2階建	273.15 m ²	自家	事務室・倉庫	262.72 m ²
研修センター	軽量鉄骨造平屋建	253.88 m ²	自家	会議室	253.88 m ²
看護部研修室	軽量鉄骨造平屋建	99.22 m ²	自家	研修室	99.22 m ²

8 医療用器械備品の明細

[illegible]

書類付表3

「8 医療用器械備品の明細」の別紙添付資料

品 名	規 格	数量	単価	自家・借用	用途の区分
CT	CT(64列マルチスライス他)	4	35,404,247	自家	
MRI	MRI(1.5テスラ他)	2	2	自家	
RI	RI検査装置他	8	8	自家	
X線撮影装置	一般撮影装置他	17	12,268,108	自家・借用	
アンギオ	アンギオ(血管造影システム)	3	7,920	自家	
オーダーリングシステム	サーバー及び端末等	15	99,401	自家	
介護入浴	特殊浴槽装置他	5	5	自家	
患者監視システム	セントラルモニター他	15	9,304,831	自家	
患者監視装置	生体情報モニター他	48	18,266,646	自家・借用	
機能回復訓練機	CPMユニット他	37	22,196	自家	
検査機器(臨床検査科他)	自動生化学分析装置他	60	58,022,463	自家・借用	
光学検査(ファイバー)	鼻腔用ファイバースコープ他	31	39,723,426	自家	
全自動除細動器	除細動器ハートスタートXL他	16	287,742	自家	
手術機器(全診療科)	トライアット・エネルギープラットフォーム他	120	35,823,207	自家・借用	
シュミレーター	マルチパラメーターシュミレーター他	6	6	自家	
消毒殺菌用機器	高圧蒸気滅菌装置他	27	686,520	自家・借用	
人工呼吸器	人工呼吸器(NPPV専用)他	16	21,143,389	自家	
心電計	多機能心電図自動解析装置他	15	4,553,509	自家	
超音波診断	フルデジタル超音波診断装置	28	41,958,016	自家・借用	
調剤機器	全自動散薬分包機他	21	2,484,468	自家・借用	
透析関連機器	持続緩徐式血液浄化装置他	7	508,257	自家・借用	
病理用医療機器	自動染色装置他	9	1,938,850	自家	
放射線治療器	エレクトラ社 Infinity他	4	2,052,270	自家・借用	
麻酔器	全身麻酔装置アポロ他	6	247,505	自家・借用	
その他(医療機器)	放射線画像管理システム他	412	64,741,771	自家・借用	
合 計			349,544,763		

重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

1 資産の評価基準及び評価方法

- ①たな卸資産・・・・・・・・・・・・・・・・・・最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しております。

2 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産（リース資産を除く）

主に定額法によっております。

なお、主な耐用年数は次の通りであります。

建物	8 年～39 年
構築物	2 年～50 年
医療用器械備品	2 年～15 年
その他の器械備品	2 年～20 年
車両及び船舶	5 年

- ②無形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっております。

なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

- ③所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

3 引当金の計上基準

- ①貸倒引当金

前々会計年度末日の負債総額が200億円未満であることから、法人税法（昭和40年法律第34号）における貸倒引当金の繰入限度額相当額を計上しております。

- ②役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

4 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

ただし、資産に係る控除対象外消費税等は発生事業年度の期間費用としております。

5 その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

（補助金等の会計処理）

固定資産を購入する目的で受取った補助金等については、受取った会計年度に一括して収益として計上しております。

（重要なヘッジ会計の方法）

- ①ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理を採用しております。

②ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段 金利スワップ

ヘッジ対象 借入金

③ヘッジ方針

当法人の内規である「デリバティブ管理規程」に基づき、金利変動リスクをヘッジしております。

④ヘッジ有効性評価の方法

ヘッジ開始時から有効性判定時点までの期間において、ヘッジ対象とヘッジ手段のキャッシュ・フロー変動の累計を比較し、その変動額等を基礎にして有効性を評価しております。

6 担保に供されている資産に関する事項

【担保に供している資産】

科目	金 額 (千円)
土地	1,190,491
建物	3,817,397
計	5,007,889

【担保に係る債務】

科目	金 額 (千円)
長期借入金 (1 年内返済予定を含む)	2,763,282
短期借入金	2,205,984
計	4,969,266

7 追加情報

当法人の主要施設である製鉄記念広畑病院は県立姫路循環器病センターと統合するため2022年4月30日をもって閉院し、5月1日から兵庫県立はりま姫路総合医療センターとして運営を行っていきます。

この統合にあたり、当法人の医師・看護師・職員等は2022年3月31日をもって当法人を退職し、一部を除き4月1日から兵庫県職員となります。4月1日から4月30日までは兵庫県職員として製鉄記念広畑病院の業務を行い、5月1日以降は兵庫県立はりま姫路総合医療センターの業務を行っていきます。

また、当法人の金融機関からの借入金4,969百万円につきましては、兵庫県から2022年4月6日に4,000百万円を借入れること及び借入金の一部を兵庫県が債務承継することにより全額返済します。

兵庫県からの借入金は、債務承継した借入金については債務免除を受け、他の借入金については当法人の資産売却を進めることにより当法人の清算手続きが終了するまでには全額を返済する見込みであります。

8 重要な偶発債務に関する事項

【訴訟案件】

当法人は運営する病院で発生した治療中の薬剤の誤使用に伴う事案に関して、令和2年2月18日付で、治療を行った患者及び患者家族から当院及び当院使用者に対して後遺障害逸失利益等及び遅延損害金の支払いを求める損害賠償請求を提起されており、現在係争中であります。

なお、訴訟の結果によりましては損害賠償等の支払いが生じる可能性はありますが、現時点においてその金額を合理的に見積もることは困難であります。

9 その他医療法人の財政状態又は損益の状況を明らかにするために必要な事項

有形固定資産の減価償却累計額 11,043,502千円

補助金等の内訳並びに交付者、貸借対照表等への影響額

No	内訳	交付者	損益計算書 影響額 (単位：千円)	貸借対照表 影響額 (単位：千円)
1	姫路救命救急センター運営費補助金	兵庫県	31,130	31,130
2	姫路救命救急センター運営費補助金	中・西播磨 各市町	21,442	20,543
3	コロナ関連補助金	兵庫県	235,149	47,369
4	コロナ関連補助金	姫路市	194	—
5	新病院開設負担補助金	兵庫県	76,737	—
6	その他		52,011	39,224
	合計		416,663	138,266

以 上

法人名 社会医療法人 製鉄記念広島病院
所在地 兵庫県姫路市広畑区夢前町三丁目 1 番地

※医療法人整理番号 28158

純資産変動計算書

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

(単位:千円)

	積立金			評価・換算差額等		純資産合計
	設立等積立金	繰越利益積立金	積立金合計	繰延ヘッジ 損益	評価・換算差額 等合計	
令和3年3月31日 残高	1, 296, 053	△ 267, 058	1, 028, 994	△ 92, 350	△ 92, 350	936, 644
会計年度中の変動額						
当期純利益		△ 668, 437	△ 668, 437			△ 668, 437
その他の当会計年度の 変動額				28, 595	28, 595	28, 595
会計年度中の変動額合計	-	△ 668, 437	△ 668, 437	28, 595	28, 595	△ 639, 841
令和4年3月31日 残高	1, 296, 053	△ 935, 496	360, 556	△ 63, 754	△ 63, 754	296, 802

1. 純資産の変動事由及び金額の掲載は、概ね貸借対照表における記載の順序によること。
2. 評価・換算差額等は、科目ごとの記載に代えて評価・換算差額等の合計額を、前会計年度末残高、会計年度中の変動額及び会計年度末残高に区分して記載することができ。この場合には、科目ごとのそれぞれの金額を注記すること。
3. 積立金及び純資産の各合計欄の記載は省略することができ。

様式第五号

法人名 社会医療法人 製鉄記念広畑病院
所在地 兵庫県姫路市広畑区夢前町三丁目1番地

※医療法人整理番号 28758

有形固定資産等明細表

資産の種類		前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (千円)	当期末残高 (千円)	当期末減価償却累計額又は償却累計額 (千円)	当期償却額 (千円)	差引 当期末残高 (千円)
有形固定資産	建物 ※2	10,281,308	-	81,170	10,200,137	6,363,548	262,466	3,836,589
	構築物	623,026	7,000	-	630,026	503,789	15,267	126,237
	医療用器械 備品 ※1	4,103,331	118,398	23,907	4,197,822	3,848,278	97,286	349,544
	その他の 器械備品	351,371	384	2,097	349,658	318,171	13,108	31,486
	車両及び船舶	9,916	-	-	9,916	9,715	201	201
	土地	1,211,710	-	21,218	1,190,491	-	-	1,190,491
	計	16,580,664	125,782	128,393	16,578,053	11,043,502	388,330	5,534,551
無形固定資産	ソフトウェア	585,393	21,206	-	606,600	585,936	5,886	20,663
	その他の無形 固定資産	13,949	-	-	13,949	9,367	825	4,582
	計	599,342	21,206	-	620,549	595,303	6,712	25,245
その他の資産	有価証券	17,500	-	17,500	-	-	-	-
	長期貸付金	13,326	-	13,326	-	-	-	-
	長期前払費用	125	-	125	-	-	-	-
	差入保証金	220	-	220	-	-	-	-
	計	31,171	-	31,171	-	-	-	-

(注) ※1 当期増加の主なもの以下の通りです。

メラ遠心ポンプシステム 20,342千円

スペクトラリスOCT AUP一式 13,900千円 ほか

※2 当期減少の主なもの以下の通りです。

医師用杜宅 70,670千円 ほか

1. 有形固定資産、無形固定資産及びその他の資産について、貸借対照表に掲げられている科目の区分により記載すること。
2. 「前期末残高」、「当期増加額」、「当期減少額」及び「当期末残高」の欄は、当該資産の取得原価によって記載すること。
3. 当期末残高から減価償却累計額又は償却累計額を控除した残高を、「差引当期末残高」の欄に記載すること。
4. 合併、贈与、災害による廃棄、滅失等の特殊な事由で増加若しくは減少があった場合又は同一の種類のものについて資産の総額の1%を超える額の増加は、その事由を欄外に記載すること。若しくは減少があった場合（ただし、建設仮勘定の減少のうち各資産科目への振替によるものは除く。）
5. 特別の法律の規定により資産の再評価が行われた場合その他特別の事由により取得原価の修正が行われた場合には、当該再評価差額等については、「当期増加額」又は「当期減少額」の欄に内書（括弧書）として記載し、その増減の事由を欄外に記載すること。
6. 有形固定資産又は無形固定資産の金額が資産の総額の1%以下である場合又は有形固定資産及び無形固定資産の当該会計年度におけるそれぞれの増加額及び減少額がいずれも当該会計年度末における有形固定資産又は無形固定資産の総額の5%以下である場合には、有形固定資産又は無形固定資産に係る記載中「前期末残高」、「当期増加額」及び「当期減少額」の欄の記載を省略することができる。なお、記載を省略した場合には、その旨注記すること。

様式第六号

法人名 社会医療法人 製鉄記念広島病院
所在地 兵庫県姫路市広畑区夢前町三丁目1番地

※医療法人整理番号 28/58

引 当 金 明 細 表

区 分	前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (目的使用) (千円)	当期減少額 (そ の 他) (千円)	当期末残高 (千円)
貸倒引当金	6,707	-	-	93	6,614
賞与引当金	408,654	426,012	834,667	-	-
退職給付引当金	199,205	355,471	554,676	-	-
役員退職慰労引当金	81,650	7,910	23,540	-	66,020

1. 前期末及び当期末貸借対照表に計上されている引当金について、設定目的ごとの科目の区分により記載すること。
2. 「当期減少額」の欄のうち「目的使用」の欄には、各引当金の設定目的である支出又は事実の発生があったことによる取崩額を記載すること。
3. 「当期減少額」の欄のうち「その他」の欄には、目的使用以外の理由による減少額を記載し、減少の理由を注記すること。

様式第七号

法人名 社会医療法人 製鉄記念広畑病院
所在地 兵庫県姫路市広畑区夢前町三丁目1番地

※医療法人整理番号 28158

借入金等明細表

区 分	前 期 末 残 高 (千円)	当 期 末 残 高 (千円)	平均利率 (%)	返済期限
短期借入金	2,205,984	2,205,984	0.47	—
1年以内に返済予定の 長期借入金	—	2,763,282	0.92	R4年4月7日
長期借入金（1年以内に 返済予定のものを除く。）	2,763,282	—	—	—
その他の有利子負債	—	—	—	—
合 計	4,969,266	4,969,266	—	—

区 分	1年超 2年以内 (千円)	2年超 3年以内 (千円)	3年超 4年以内 (千円)	4年超 5年以内 (千円)
長期借入金（1年以内に 返済予定のものを除く。）	—	—	—	—
合 計	—	—	—	—

1. 短期借入金、長期借入金（貸借対照表において流動負債として掲げられているものを含む。以下同じ。）及び金利の負担を伴うその他の負債（以下「その他の有利子負債」という。）について記載すること。
2. 重要な借入金で無利息又は特別の条件による利率が約定されているものがある場合には、その内容を欄外に記載すること。
3. 「その他の有利子負債」の欄は、その種類ごとにその内容を示したうえで記載すること。
4. 「平均利率」の欄には、加重平均利率を記載すること。
5. 長期借入金（1年以内に返済予定のものを除く。）及びその他の有利子負債については、貸借対照表日後5年内における1年ごとの返済予定額の総額を注記すること。

様式第八号

法人名 社会医療法人 製鉄記念広畑病院
 所在地 兵庫県姫路市広畑区夢前町三丁目1番地

※医療法人整理番号 28158

有 価 証 券 明 細 表

【債 券】

銘 柄	券 面 総 額 (千円)	貸借対照表価額 (千円)
計		

【その他】

種 類 及 び 銘 柄	口 数 等	貸借対照表価額 (千円)
計		

1. 貸借対照表の流動資産及びその他の資産に計上されている有価証券について記載すること。
2. 流動資産に計上した有価証券とその他の資産に計上した有価証券を区分し、さらに満期保有目的の債券及びその他有価証券に区分して記載すること。
3. 銘柄別による有価証券の貸借対照表価額が医療法人の純資産額の1%以下である場合には、当該有価証券に関する記載を省略することができる。
4. 「その他」の欄には有価証券の種類（金融商品取引法第2条第1項各号に掲げる種類をいう。）に区分して記載すること。

様式第九の一号

法人名 社会医療法人 製鉄記念広畑病院
所在地 兵庫県姫路市広畑区夢前町三丁目1番地

※医療法人整理番号 28/58

事業費用明細表

(単位：千円)

区 分	本 来 業 務 事 業 費 用			附帯業務 事業費用	収益業務 事業費用	合 計
	事 業 費	本 部 費	計			
材料費	2,351,606	-	2,351,606	-	-	2,351,606
給与費	5,689,175	-	5,689,175	-	-	5,689,175
委託費	734,721	-	734,721	-	-	734,721
経費	1,752,789	-	1,752,789	-	-	1,752,789
売上原価	-	-	-	-	-	-
その他の事業費用	-	-	-	-	-	-
計	10,528,292	-	10,528,292	-	-	10,528,292

1. 売上原価には、当該医療法人の開設する病院等の業務に附随して行われるもの（売店等）及び収益業務のうち商品の仕入れ又は製品の製造を伴う業務について記載すること。
2. 中科目区分には、それぞれ細区分を設け、売上原価については、商品（又は製品）期首たな卸高、当期商品仕入高（又は当期製品製造原価）、商品（又は製品）期末たな卸高を、材料費、給与費、委託費、経費及びその他の費用については、その内訳を示す費目を記載する様式によることもできる。
3. その他の事業費用には、研修費のように材料費、給与費、委託費及び経費の二つ以上の中区分に係る複合費として整理した費目を記載する。

28/58

独立監査人の監査報告書

2022 年 6 月 10 日

社会医療法人 製鉄記念広畑病院

理事会 御中

清水公認会計士事務所

大阪府大阪市

公認会計士

清水 章夫

監査意見

私は、医療法第 51 条第 5 項の規定に基づき、社会医療法人製鉄記念広畑病院の 2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までの第 25 期会計年度の貸借対照表、損益計算書、重要な会計方針及びその他の注記並びに財産目録（以下「計算書類」という。）について監査を行った。

私は、上記の計算書類が、全ての重要な点において厚生労働省令第 95 号（平成 28 年 4 月 20 日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して作成されているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告書、関係事業者との取引の状況に関する報告書、純資産変動計算書及び附属明細表である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私の計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類の監査における私の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類又は私が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私が報告すべき事項はない。

計算書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、厚生労働省令第 95 号（平成 28 年 4 月 20 日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して計算書類を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、厚生労働省令第 95 号（平成 28 年 4 月 20 日）において定められた医療法人会計基

準及びこれに関連する医政局通知等に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続事業を前提として計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類の表示及び注記事項が厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上